

富士宮西ロータリークラブ会報

Rotary



石川 俊洋 会長

国際ロータリークラブ第2620地区 2024-2025年度

RI 会長 ステファニー A. アーチック

会長 石川 俊洋 幹事 大谷 裕也

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間

事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>

TEL.0544-28-1126 FAX 0544-25-8182 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.4 通算 1575 号 2024 年 8 月 2 日(金)

♪Rotary Songs 国歌・それでこそロータリー

ゲスト・ヴィジター

なし

会長挨拶 会長：石川 俊洋 君

皆さんは「のっぽさん」をご存じでしょうか？おそらくのっぽさんを知らない人はいないんじゃないかと思えます。高見のっぽさん本名は高見喜明さんと言い1934年京都市生まれ、父親の職業は戦前は、芸人さんだったそうです。

2022年9月10日に心不全により88歳で亡くなりました、私の子供のころはNHKの教育テレビの『できるかな』という番組でチューリップハットを被り無言でダンスしながら工作をしたり子供たちと一緒にいろんなことをしていました。タップダンスはもとより歌手・作家・作詞家・絵本作家など様々な顔を持っていました。のっぽさんは子供のことを『小さい人』と呼び「小さい人はとても賢い。」と言っていました。素顔も温厚で良い人そのものだったのっぽさんは、子供たちをとてもかわいがり、そして尊敬していました。

今回「のっぽさん」のこを見つけたのがインターネットで毎日新聞の記者が書いたある記事を見つけたことでした。戦後70年が経ち政治家が、『愛国心』や、『道徳教育』を口にするようになったことがきっかけで今まで自分の中にたまっていた怒りがこみ上げてきて自らの戦争体験を執筆するようになったことで、記者が「のっぽさん」戦争の記憶が聞きたかったのだそうです。「のっぽさん」曰く政治家は時勢を上手に取り入れて経済政策などを語れば有権者たちは飛びついてくる。「愛する国のためにどうすればいいのかを勉強するのならわかる、

愛する国のために犠牲になることを教えるなんて冗談じゃない。」東京の向島に住んでいた時、町内の菓子屋からあんこが消えたと思ったら戦争が始まった。岐阜県に疎開しているとき岐阜大空襲を経験し、12歳以上年がはなれていた兄が特攻隊に志願したこと等様々な戦争体験が書かれていたのだが最後に、一番大事なことは小さい人が大人に騙されていたと気づいたこと、戦争が始まったとたん「欲しがりません勝つまでは」とか「死して護国の盾となれ」などと書かれたポスターが町にあふれていた。しかし11歳で終戦を迎えたとき小学校の担任が「民主主義っていいなあ」といったのを聞いてよくそんなことが言えるなど、むかむかしていたそうです。

小さい賢い人達が大人に騙されるのが戦争、労働力として協力させられ命まで奪われる、そんな理不尽なことが起こる、今もロシアに進行されたウクライナでは、小さい人たちが大勢犠牲になっている。もしのっぽさんが存命だったらどんな思いだっただろう。

「のっぽさん」は、平和活動家ではなが、小さい人に敬意をもって接する根底にはやはり自身の戦争体験があったのではないのでしょうか、

「のっぽさん」は、孔子が好きで普段はとてつつましい生活をしていたそうです。

エンターテイナーで、人に優しく小さい人達にまで敬意をもって接し「僕は風のように逝くからさ。」と、普段から言っていた通りに中秋の名月の澄み渡るような空の日に逝ったそうです。

私も「のっぽさん」のような生き方に憧れます。

幹事報告

幹事 大谷 裕也 君

*別紙幹事報告書参照

出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	19	17	16	1	1	94.10%

欠席者： 近藤憲司君、☆宇佐美量三君、☆外木規之君

本日のお祝い

夫人誕生日 片岡洋子（8. 7）博昌夫人
入会記念日 竹田浩富（H26. 8. 8）

スマイル

- 久しぶりに東京に行ってきました。暑さが違う！
後藤憲治君
- 麻雀同好会の活動を復活します。8月3日（土）
PM2～6 原医院で。 貫名英舜君
- お誕生日お祝い有難う。 渡邊奈津美君
- 毎日暑い！今月もヨロシク。 若林眞治君

クラブ協議会

会員の為の内部研修 研修リーダー伊原謙治君

ミツバツツジ事業について

竹田君：現状のまま維持。参加人数を増やしたい。他からも参加者を募る広報が必要。

若林君：継続希望。本数は減らして、大きな苗を植えたい。

渡邊君：継続。日曜日に実施なら家族参加できる。3776本構想を700～800本に減らす。

貫名君：日曜日を例会とするは無理。社会奉仕活動なら可能か。社会奉仕プロジェクトなら目標継続の期限を決めるべき。

石田君：終わりを決めるべき。

遠藤君：現場の土壌が悪い。止めてもいい。代わりにゴミ清掃などの事業も考える。

後藤君：一定の所で終わる必要あり。活動計画見直し。

石川君：クラブのレガシーとすれば植樹は継続。個人的の花見等積極的に利用する等もっと多くの人達を巻き込んだ計画を立てる。

大谷君：ただ植えるだけでなく、社会奉仕委員会の主体性明確にし目標を長期か年次かに設定する。

岡村君：期限を区切るのもあるし継続的活動もある。具体的にやり方を煮詰めていく。

加藤君：当事業は1000本をもって完成とする。新事業を決める。

（ミツバ事業終了後）入口看板の取り扱いを考える。



スマイル表彰の四人

